

# PCR検査や事業者経営支援金などで緊急要請 コールセンターへの接続改善も求める

新型コロナウイルスの第4波が全国で猛威をふるっています。新潟県内では7日、新規感染者が過去最大の34人、判明しています。上越市で、いつ大規模感染が起きてもおかしくない状況となりました。そしてまた、新型コロナウイルスクチンのコールセンターが2日設置されましたが、「一時間かけてもコールセンターにつながらない」などの事態が起きています。

こうしたなか、日本共産党議員団では7日、「市としても国待ちにならず、機敏な対策をとることが責務である」として、「当面の措置」として、左記6項目について村山秀幸市長に緊急申し入れを行いました。



【シュンラン】(再掲)ラン科。春に咲く蘭の代表とっていいでしょう。漢字で「春蘭」と書きます。花は薄緑色、花は3月～4月に咲きます。わが家の近くの里山で見つけました。素朴な美しさがいいですね。花言葉は「清純」「控え目な美」。写真は4月6日、撮影しました。

申し入れ文書は議員団の3人が笹川総務管理部長に渡し、市長に伝えるよう要請しました。以下は6項目の申し入れ内容です。

- 一、医療機関の負荷を軽減するためにも、無症状感染者を早期に保護し、重症患者数を抑制することが必要である。国は高齢者施設の職員などの検査を進めるよう地方自治体に求めているが、検査対象や頻度の基準を示していないうえに、財源は自治体任せである。
- ① 国に対して、高齢者施設・福祉施設などの職員などの検査基準の明確化と財政措置を強く求めること。
- 二、持続化給付金を再支給するよう、政府関係機関に働きかけること。
- 三、事業者への支援策として新たに打ち出した「事業者経営支援金」制度について、「この制度ができたことを知らなかった」「手続きが難解かつ煩雑である」「『すべての月で売上高が減少している』など支援対象要件のハードルが高い」などの声が寄せられている。
- ② ① 手続きを簡略にするよう  
② 対象を広げるよう

- ③ 起業間もない事業者も実際に対象になるよう改善すること
- 四、上記の「事業者経営支援金」制度について、当面、制度の周知を徹底して行うとともに、申請手続きで難儀している人たちに対して、専門家に依頼する場合の費用を助成するなど申請者に応じた支援をするよう。
- 五、収入の減少している市民や事業者に対して、市としてガス・水道料金の減免を行うこと。
- 六、ワクチン接種に際し、問い合わせ先の電話が通じにくい状態になっている点をすぐに解消すること。

## 先行議決された事業者経営支援金 申請136件

上越市が3月3日にスタートさせた「事業者経営支援金」は、「新型コロナウイルス感染症の感染者の再発の増加の影響により、複数月売上が減少している中小企業者等に対し、事業継続を支援するため、売上減少率、売上規模に応じて(最大で百万円の)支援金を交付」するもので、予算額は3億4000万円となっています。

この「事業者経営支援金」を含む令和2年度一般会計補正予算は、いっときも早く支援を、3月20日他の議

案に先駆けて議決(全会一致)され、執行されました。しかし、4月2日の時点で、申請が出た件数は136件、約3500万円にとどまっています。改善すべきは早急に改善して支援を強化してほしいものです。

## 29日に議会報告会実施へ

日本共産党議員団では4月29日14時から市民プラザで議会報告会を行います。新型コロナウイルス対策をしての開催となります。ぜひご参加ください。



吉川区代石にある善長寺の掲示板。前半2行は西本願寺作、後半2行は前坊守さんの言葉とか。気に入りました。私の居場所もここにあり!

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.2006 2021.4.11**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第六五三回

### 春の花たち

いったい何なのでしょうね、野や山に咲く春の花を見るだけでウキウキした気持ちになるのは……。もう二〇年以上も、そういう状態が続いています。

今年は雪がたくさん降って、花が咲くのは遅くなるかと思っていたのですが、大雪になった時以外は気温が高く、開花時期はむしろ早くまりました。

例年だと二月二十五日頃に咲き始めるマンサク、今年は一週間ほど早く黄色の花を見せてくれました。

最初に見たのは吉川区から浦川原区へ行く県道柿崎牧線沿いの土手でした。朔日峠まで三百坪ほどのところでした。いつもなら、土手の高いところまで上がらないと花を見ることはできないのですが、今年は大雪に押され、木の枝がかなり下まで来ていました。そこに黄色く、キラキラと輝いていたのがマンサクの花でした。

マンサクは何と言っても花の形がユニークです。薄焼き卵を細かく切った錦糸卵(きんしたまご)にそっくり。真っ白な雪がすぐそばにあって、この花のバックに青い空があれば、もう最高です。その姿を見ただけでワクワク、冬から春へと季節が大きく動いていることを実感できます。

草花で最初に見たのはオウレンです。マンサクの花を見てから一週間くらい後でした。地元のお寺の階段のそばにある大きなケヤキの根っこのところに今年も白い小さな花を咲かせました。

オウレンにはマンサクのような強烈なアピール力はありません。おそらく、私のように、「以前、ここに咲いていたはずだ」という記憶を持っている人間以外はなかなか気づかないのではないのでしょうか。

目立ちませんが、このオウレンは、私にとっては春先に気になる野の花の一つです。花は小さくてかわいしいし、何よりも春の野の花のシーズン到来を告げてくれる

存在となつていくからです。

今年も、オウレンを初めて見たとき、「これならキクザキイチゲも咲いているに違いない」と思いました。そう思いはじめると、もう、私はじっとしていられます。実際に咲いているのかどうか確かめたいのです。

こうして、私がいつも行く場所の一つは代石(たいし)神社周辺です。おそらく、ここは吉川区でキクザキイチゲが最初に咲く場所だと思えます。行ってみると、間違いなくキクザキイチゲは花の時期を迎えていました。この日は、曇り空だったこともあり、がっかりしてうなだれているような姿をしてはいましたが、この花ほどお日様に敏感に反応する花はありません。しばらく日が当たれば、ぱっと花を咲かせます。

一〇日ほど前からシヨウジョウバカマがあちこちで白い花、薄紫色の花を咲かせはじめました。先日、杉林のなかで咲いているシヨウジョウバカマが気に入りました。正面もいいですが、この日は後ろ姿が素敵でした。背筋がすっと伸びていて、薄紫色の花がゆったりとしていたのです。まるで湯あがり美人といった感じがしました。

そして先日の朝は、近くのKさんから声をかけられました。「橋爪さん、この花、何だかわかんなる」と言っていて案内してもらったのは、Kさんの庭でした。草丈は低く一五センチほどで、最初、チゴリに似ているなと思ったのですが、茎の先に咲く淡黄色で広い釣鐘型の花を見てコシノコバイモだとわかりました。本来、山に咲くはずのもの、一体、どうして……。

春の花には、花の形でアピールするものがある、鮮やかな黄色や白色などで美しく輝くものもある。なかには後ろ姿で魅せるものも……。新しい春、野の花たちに出会うと、どの花も新鮮で心ときめきます。不思議な力を持っていますね、春の花は。

## (仮称)直江津プロジェクト、大地の芸術祭とも連携

### 常任委員会審査の中から

3月12日の総務常任委員会で、(仮称)直江津プロジェクトについての質問が相次ぎました。

委員からは、「現代アート作品は多岐にわたり、他県でも問題になったことがあるが、チェック体制はどのようにするのか。また、大地の芸術祭との連携は考えているか」「アートプロジェクトは、継続性を持った、経済波及効果のある企画になってほしいと思うが、どう考えているか」などといった質問が出されました。

これに対して市の担当は、「実行委員会形式での運営を考えており、

事業を発案した良品計画から専門家を紹介いただき、市も中に入って、相談しながら進めていきたいと考えている。また、大地の芸術祭とは期間を合わせ、相互にPRを行い、お互いに送客するなど連携していきたいと考えている」「やってよかったと価値を感じていただける内容にすることが継続の前提なので、全力を尽くしていきたい。しっかりと総括して、市民全体の取組として盛り上げていく機運があるかを見極めながら、次の展開を判断していく」と答弁していました。

## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月31日(水)	4月7日(水)
上越南消防署	0.047	0.043
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.047	0.057
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.067	0.063
東頸消防署	0.050	0.040
名立分遣所	0.053	0.050
高士分遣所	0.050	0.053

## イルカらしきものを見かける



5日の夕方、糸魚川市からの帰り道、有間川よりも西の海でイルカらしきものを見かけました。

日本海には鯨類がいるとは聞いていましたが、実際の姿を見たのは初めてです。幸運でした。